

今週（10月6日から10月10日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが堅調に見られ、出会いレートの水準は、0.475～0.478%程度で安定的に推移した。週を通して大きな変化がなく落ち着いた相場展開となったことから、加重平均レートは6日(月)～8日(水)までは0.477%の横這いでの推移となったが、9日(木)は試し取りが実施されたことから、0.478%に上昇した。10日(金)は週末となり試し取り要因が剥落したことから、再び通常の取引が中心となった。

ターム物に関しては、月内物で0.48～0.55%程度で出会いが散見された。10月の決定会合を跨ぐ1～3M物では、オフアーとビッドのレート目線が乖離しており、閑散とした状況となった。

日銀当座預金残高は、6日(月)に493兆円程度からスタートした。8日(水)には国債発行により492兆円台に減少したものの、9日(木)の国債買入オペを受けて493兆円台を回復した。10日(金)は再び国債発行等の要因により減少し、491兆円程度での着地見込みとなった。

●債券レボ市場

今週のGC O/N物は、概ね0.49～0.505%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが堅調に推移した。

9日(木)に実施された6M物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでも、底堅く推移した。

10日(金)に実施された3M物入札は事前予想に比べ強い結果となり、結果発表後のセカンダリーでも、強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、小売業、建設業、不動産業など複数の業態で大型発行が行われた。

市場発行残高は、23兆円台前半で推移する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/6 (月)	47,944.76	1.670	150.10	0.477	0.493	4,931,600
10/7 (火)	47,950.88	1.675	150.44	0.477	0.492	4,931,100
10/8 (水)	47,734.99	1.695	152.30	0.477	0.492	4,922,900
10/9 (木)	48,580.44	1.690	152.66	0.478	0.494	4,930,900
10/10 (金)	48,088.80	1.690	153.01	0.477	0.498	4,909,100

来週（10月13日から10月17日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
10/13 (月)	スポーツの日				New York祝日(Columbus Day)
10/14 (火)	9月のマネースtock(日銀 8:50)				
10/15 (水)		20 Y 10/16発行 8,000億円			9月の米消費者物価指数 米ページブック
10/16 (木)	田村審議委員 沖縄県金融経済懇談会における挨拶 8月の機械受注統計(内閣府 8:50) 8月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	TDB 1Y 10/20発行 32,000億円	交付税借入 10/23借入 13,000億円		9月の米小売売上高 9月の米生産者物価指数 8月の米企業在庫
10/17 (金)	内田副総裁 全国信用組合大会における挨拶 8月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TDB 3M 10/20発行 43,000億円	流動性入札 10/20発行 6,500億円		9月の米鉱工業生産・設備稼働率 9月の米住宅着工件数 9月のユーロ圏消費者物価指数改定値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/13 (月)									
10/14 (火) 日銀予想	0	▲ 10,200	▲ 10,200	社債買入 国債補充	▲ 100 1,300		1,200	▲ 9,000	TDB3M発行▲43,000 償還43,000
10/15 (水) 弊社予想	1,000	73,000	74,000	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	66,000	源泉税揚げ、年金定時払い 個人向け発行▲4,400 償還800 交付税借入▲13,000 期日11,000
10/16 (木) 弊社予想	▲ 500	▲ 8,000	▲ 8,500				0	▲ 8,500	20Y発行▲8,000
10/17 (金) 弊社予想	▲ 1,000	1,000	0				0	0	
週間合計	▲ 500	55,800	55,300	—	▲ 6,800	0	▲ 6,800	48,500	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC O/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.49～0.505%程度の横ばい圏での推移が予想される。短国市場は、16日(木)に1Y物、17日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、16日(木)に五・十日発行が予定されており、発行案件がどこまで膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、16日(木)に田村審議委員 沖縄県金融経済懇談会における挨拶、8月の機械受注統計、17日(金)に内田副総裁 全国信用組合大会における挨拶、海外では、15日(水)に9月の米消費者物価指数、米ページブック、16日(木)に9月の米小売売上高、9月の米生産者物価指数、17日(金)に9月の米住宅着工件数、9月のユーロ圏消費者物価指数改定値などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。